

平成26年度 事業報告

平成26年度中において、本協議会は関係機関・団体と連携し、交通安全教育を中心に、広報・啓発活動などの各種交通安全対策を積極的に推進し、交通事故の防止に努めた。

平成26年中の市内の交通事故は、発生件数2,561件（前年比262件減）、死者数21人（前年比3人増）、負傷者数2,968人（前年比253人減）と死者数はわずかに増加したものの、発生件数、傷者数は共に前年より減少した。

1. 会議

(1) 通常総会

平成26年7月28日（月）松山市役所11階大会議室 於

- ・平成25年度 事業報告・収支決算報告 承認
- ・平成26年度 事業計画・収支予算 承認

2. 交通安全教育

交通安全教育は幼児から高齢者まで立場を問わず、すべての人を対象に行わなければならない。

そこで交通安全教育を生涯教育として捉え、保育所・幼稚園、学校、交通安全協会等と連携し、特に交通弱者である子どもや高齢者を重点的に交通安全教育を実施した。

(1) 交通安全こじかクラブ等における交通安全教育

幼児教育は、健全な交通社会人を育てる幼児期における基礎要件であり、主に市内の交通安全こじかクラブで、

- ・安全を確かめて行動できる能力、態度、習慣の養成
- ・身近な生活における基本的な交通のルールへの指導
- ・判断力、敏捷性等、安全に行動できる能力の養成

を重点目標に、自主的又は指導員による集合訓練等を実施し、交通安全思想の普及と安全な通行方法の指導に努めた。

(2) 小学校における交通安全教育

ア 新入学児童に対する交通安全思想の普及

正しい安全な通行方法を修得するため、歩行訓練を中心とした交通安全教育を実施した。（P.20 資料編 第3図参照）

また、新入学児童約4,500名に対しランドセルカバー、学校に対し1,600本の集団登校旗を贈呈し、交通安全意識の高揚を図った。

イ 児童に対する交通安全思想の普及

- ・自転車の乗り方指導（P.21 資料編 第4図参照）
- ・ダミー人形の衝突実験
- ・交通安全映画等を利用した視聴覚教育

を実施して正しい交通ルールとマナー向上に努め、安全通行の重要性を喚起した。

(3) 交通安全モデル事業

近年のめざましい交通環境の変化に対応し、幼児や児童を交通事故から守るため、警察、交通安全協会と協同して、モデル事業を実施した。

○交通安全モデル小学校

平成 26 年度交通安全モデル小学校として、松山市立味酒小学校を指定し、交通安全教室等を開催した。また、交通安全推進の啓発ポスターの作成を行った。なお、優秀作品 5 点は、春の全国交通安全運動期間中に配布するチラシ、松山市のホームページに掲載した。(裏表紙に作品を掲載)

○交通安全モデル幼稚園

平成 26 年度交通安全モデル幼稚園として、学校法人 北梅本学園 北梅本幼稚園を指定し、交通安全イベントへの参加、歩き方教室の開催、園行事での交通安全教育等を実施した。春秋の全国交通安全運動期間中の交通安全パレードに参加し、啓発に貢献した。

(4) その他の交通安全教育

交通事故防止対策の効果的な推進を図るため、交通安全指導者の指導能力の向上を目的に下記の研修を実施した。

・平成 27 年 1 月 27 日 (火) 松山市役所 11 階 大会議室 於

交通安全研修大会 参加者 交通指導員 149 名

交通安全母の会 97 名

平成 26 年度交通安全教室実施状況

| 対 象 | | 回数 | 参加者 | |
|--------------------------|-----------|----------|-------------|--------------|
| 保育所・幼稚園 (交通安全こじかクラブ等) | | 90 回 | 園児 10,778 人 | 保護者等 1,717 人 |
| 小・中学校 | 新 入 学 児 童 | 49 回 | 児童 4,554 人 | 保護者等 1,300 人 |
| | 小学校 自 転 車 | 52 回 | 児童 4,650 人 | 保護者等 1,236 人 |
| | 中学校 自 転 車 | 5 回 | 生徒 703 人 | 保護者等 62 人 |
| | 上記以外 | 1 回 | 子ども 70 人 | 保護者等 8 人 |
| 合 計 | 197 回 | 25,078 人 | | |

3. 各種交通安全運動の推進

(1) 春・秋の全国交通安全運動及び各種の交通安全運動

春・秋の全国交通安全運動、年末の県民運動には、関係機関・団体と密接な連携をとり、次のとおり実施して交通安全思想の普及に効果を収めた。

交通安全運動の推進

| 区分 | 期間 | 運動の基本及び重点 | 実施事項 |
|----|-----------------------|---|--|
| 春 | 4月6日 ～ 4月15日 | <ol style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の交通事故防止 自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底） 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 飲酒運転の根絶 自転車安全利用の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の事故の防止策の啓発。 自転車安全運転に対する意識付けと交通ルールの遵守及び正しいマナー向上の推進。 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を推進し交通安全意識の高揚を図る。 運転するなら飲まない、飲んだら乗らない、運転する人にすすめない、飲んだ人に運転させない、運動の推進。 |
| 秋 | 9月21日 ～ 9月30日 | <ol style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の交通事故防止 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底） 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 飲酒運転の根絶 自転車安全利用の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと高齢者の事故の防止策の啓発。 歩行者、自転車利用者の反射材用品等の着用及びライト点灯の促進。 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用を推進し交通安全意識の高揚を図る。 運転するなら飲まない、飲んだら乗らない、運転する人にすすめない、飲んだ人に運転させない、運動の推進。 |
| 年末 | 12月21日 ～ 12月31日 | <ol style="list-style-type: none"> 高齢者の交通事故防止 飲酒運転の根絶 夕暮れ時と夜間の交通事故防止 自転車の安全利用の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者交通安全教育の推進。 交通指導員、交通安全母の会会員による重点目標の啓発実施。 乗車前の点検・整備、夕暮れ時からのライト点灯や反射材・ヘルメットの着用の促進 |

4. 松山市交通指導員の活動状況

交通安全活動推進の中核である交通指導員は、悲惨な交通事故の発生を防止するため、街頭指導を中心として、各種の交通安全活動に献身的かつ積極的に取り組んだ。

(1) 街頭指導等

各種の交通安全運動を中心として、各地区の実態に即した計画により、交通弱者（特に子どもと高齢者）の保護誘導とシートベルトの正しい着用の徹底に重点を置き、街頭指導を行うほか、こじかクラブ、小中学校、高齢クラブ、交通安全母の会等と連携し、時期と特性に適した交通安全教育の実施に努めた。

(2) 交通安全施設の点検整備

通学路を中心に交通安全施設の点検整備を図り、通学児童及び地域住民の安全確保に努めた。

(3) 各種行事実施に伴う交通指導員の出動状況

延べ333名が出動して街頭指導に当たり、行事参加者及び観客の安全と交通の円滑を図り、交通事故の防止に努めた。

平成26年度松山市交通指導員 各種行事出動報告

| NO. | 月 日 | 行 事 名 | 出 動 人 員 |
|-----|-------------------|--------------------------------|---------|
| 1 | 平成26年 4月3日(木) | 春の交通安全パレード | 24名 |
| 2 | 4月6日(日) | 春まつり 大名行列 | 39名 |
| 3 | 4月10日(木) | 道後オンセナイト | 8名 |
| 4 | 7月16日(水) | 交通安全県民大会 | 6名 |
| 5 | 8月3日(日) | 松山港まつり三津浜花火大会 | 18名 |
| 6 | 8月8日(金) | 松山まつり 野球拳おどり | 11名 |
| 7 | 8月9日(土) | 松山まつり 野球拳おどり | (中止) |
| 8 | 8月10日(日) | 松山まつり 野球拳サンバ | 11名 |
| 9 | 9月19日(金) | 秋の交通安全パレード | 24名 |
| 10 | 9月27日(土) | 松山市総合防災訓練 | 5名 |
| 11 | 11月15日(土) | お城めぐりいざ出陣 (まつやまお城下ウォークイベント) | 10名 |
| 12 | 11月29日(土) | まつやまお城下ウォーク | 30名 |
| 13 | 12月5日(金) | 道後オンセナイト | 2名 |
| 14 | 12月6日(土) | 興居島駅伝 | 7名 |
| 15 | 平成27年 1月25日(日) | 愛媛駅伝 | 37名 |
| 16 | 2月8日(日) | 第53回 愛媛マラソン大会 | 90名 |
| 17 | 2月11日(火) | 北条駅伝 | 11名 |
| 合 計 | | | 333名 |

5. 松山市交通安全母の会連絡協議会の活動状況

“交通安全は家庭から”をスローガンに、安全で事故のない生活都市松山をつくるため、交通安全パレードや人の輪作戦への参加、高校・大学等への自転車の正しい利用を呼びかけるイエローカードの配布といった啓発活動をはじめ、交通安全研修大会等の開催・学習を通じて、交通事故を家族ぐるみで追放する気運を盛り上げた。

6. 広報活動

(1) 交通安全パレードの実施（春・秋の全国交通安全運動）

春・秋のパレードも、県警察本部音楽隊、交通指導員、セーフティリーダー、交通安全母の会、松山東雲短期大学附属幼稚園園児（春）、北梅本幼稚園園児（秋）など延べ約500名の参加協力を得て、盛大に実施し運動の周知と交通安全思想の普及に努めた。

(2) その他の広報

次の広報媒体を活用し、広く市民に交通道德の高揚を促した。

| 広 報 媒 体 | 数 量 |
|----------------|----------|
| 横 断 幕 | 8 枚 |
| 懸 垂 幕 | 54 枚 |
| チ ラ シ | 32,000 枚 |
| 広 報 ま つ や ま | 2 回 |
| 市 ホ ー ム ペ ー ジ | 15 回 |
| 市庁舎での庁内放送による啓発 | 50 回 |